

SHIMANO

KISU SPECIAL

キススペシャル

取扱説明書

[実釣遠投用/並継投竿]

このたびは、シマノカーボンロッドをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

いかに軽くて丈夫なロッドでも、乱暴な取り扱いでは、竿を傷めてしまいます。

釣り人にとって、竿は大切な体の一部。

この説明書をお読みの上末永く、ご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

安全上のご注意 ご使用前に必ずお読みください。

⚠ 危険

感電注意

電線との接触による感電 高圧線・線路・鉄橋等の電線による感電に注意してください。釣竿は素材特性上、電気をよく伝えます。特に電線等に接触、または、釣竿を近づけただけでも感電して死亡事故の原因となります。釣り場を移動する時は竿をたたみ、高圧線・線路・鉄橋等の電線の下または近くでは絶対に使用しないでください。

落雷による感電 落雷による感電に注意してください。使用中、雷が発生した時は、ただちに釣竿から離れ、安全な場所に避難してください。また、雷の発生がなくても、釣竿から電気を感じるようなときも同様に、ただちに釣竿から離れ、安全な場所に避難してください。

釣り場以外の電線による感電 釣り以外で釣竿を使用し、電線に触れる事故が発生しています。釣竿を使用する時は、周囲の安全に十分注意してください。

⚠ 警告

感電注意

キャスティング(投げる)時の注意 キャスティング(投げる)の時は、周囲に人がいないか、十分に安全を確認してください。釣針が人にささったり、ルアーフック、オモリ等が人に当たると非常に危険です。

⚠ 注意

感電注意

固着のゆるめ方 釣竿の固着(継ぎ部が食い込んで外れない時)は、継目の両側近くに、すべり止めを当てて握り、互いに逆方向へヒネリながら押し(振出竿の場合)、継目をゆるめてください。その際、一気に力を入れると釣竿の継目に手をはさみ、けがをするおそれがあります。

根掛かりの外し方 根掛かり(水中、陸上での障害物に仕掛けが絡みはすれない状態)した時は、無理に竿をあおらないでください。竿が折れたり、外れた仕掛けが飛んできて、けがをするおそれがあります。根掛かりは、出来るだけ、糸を手にとって引っ張って糸を切ってください。その際、糸で手を切ることがありますので、手袋やタオルで手を保護してください。

破損時の取り扱い方 使用中、万一釣竿が破損(折れ、割れ、欠け、剥離)した場合、破損した箇所を手などけがをするおそれがあります。

修理部品に関するお願い

パーツを注文される際には、必ず商品名と商品コード番号をお知らせください。

弊社では修理部品を商品コード番号によって分類しています。穂先交換などご自分で修理される場合には、商品コード番号をお知らせください。商品コード番号は、保証書「本体価格(税別)2万円以上の商品のみ添付しています」、本体元竿の商品名近く、もしくはパッケージのラベルに記載されています。商品コード番号を控えて、修理の際には必ず御提示ください。

- 修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。修理対応期間につきましてはシマノ全国サービスネットにお問い合わせください。

※商品コード番号は、数字の5ケタになっています。(例) CODE No.12345



装備充実!! 実釣遠投用

4分割可変式バランスウェイト

●最適なスウィングバランスに調整できる、4分割可変式バランスウェイト内蔵。

ロッドのもつ超遠投能力を十二分に引き出すには、ロッドを押し出すと同時にグリップエンドを効果的に引きつけなければなりません。この時に最も重要なのがスウィングバランスです。ロッドの重心が各自の体格、腕の長さ、パワーに合うように調整されていなければ、キャスティングパワーをフルに活用できないからです。シマノでは、グリップエンドに4分割可変式バランスウェイトを内蔵させることに成功。合計16パターンの中から自分に最適なスウィングバランスをお選びいただけます。

●0~150gで10g単位の16パターンの調整が可能。(例) 20g+40g=60g、10g+20g+40g+80g=150g

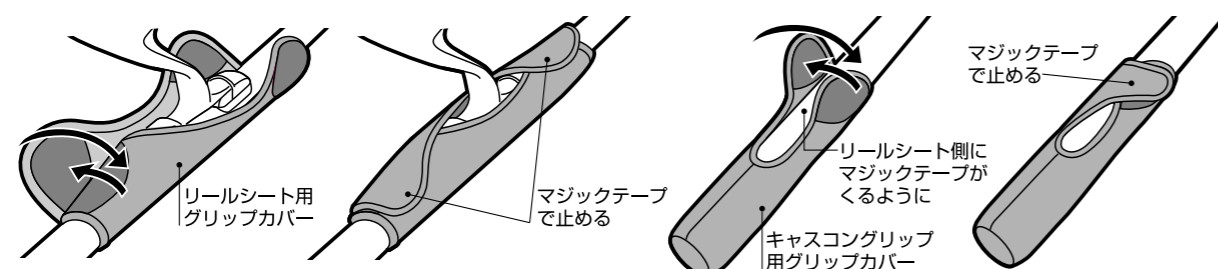
●飛距離には大きく影響しません。

●最もシャープなスウィングができるようにウェイト調整ができます。

●重くすることによって、リーリング時の安定感が増します。

グリップカバー リールシート用、キャスコングリップ用が付属。

- 汗による滑り等を防ぎ、グリップ力をアップできます。
- ひと回り握り径を太くすることが可能です。(リールシート用はパワーアシストグリップとの併用で更に太くできます。)
- リールシート用の取り付け方法
- キャスコングリップ用の取り付け方法



パワーアシストグリップ

- リールシート部の握り径が細く感じる方は、「パワーアシストグリップ」の装着をお勧めします。ひと回り握り径を太くすることが可能です。
 - 取り付け方法
- 1 パワーアシストグリップ接着部分を確認してください。(リールを取付けて、握り位置を確認してください。)
 - 2 接着部分の清掃をして、水分や汚れ等を取り除いてください。
 - 3 ゴム系接着剤をパワーアシストグリップ裏側に十分塗布してください。
 - 4 接着部分にパワーアシストグリップを圧着し、まわりにはみ出さないよう注意して、接着剤が硬化するまでセロテープ等で仮止めしてください。

Pリング

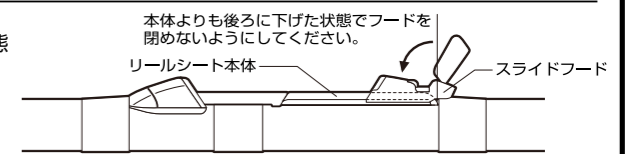
●玉口外周を保護する、着脱可能なPリング装備。

竿の収納時、及び持ち運びの際に、Pリングを玉口に装着してください。玉口を保護し、破損のトラブルが減少されます。また、Pリングを装着したままの実投(キャスティング)、実釣もできます。

キススペシャル

リールシートの取扱いについて

スライドフードをリールシート本体よりも後ろに下げた状態でフードを閉めないようにしてください。厚塗りコーティング部分の表面を傷つける恐れがあります。



継目の固着について

●継目がとれにくくなった場合

付属のロッドベルトを巻き付けて、図のように2人で向き合い、継目に近いところをしっかりと握ります。お互いに、逆方向にゆっくりとネジリながら引き抜きます。

いわゆる固着は、水が付着した時や投げの力や魚の強い引きなどで多かれ少なかれ起きます。力まかせに、無理やり外そうとすれば、竿を傷めてしまいます。左記のような要領で行ってください。それでも無理なときは、シマノサービスネットにご相談ください。

ご使用後のお手入れ

釣行後のお手入れもお忘れなく

水洗いをして、汚れや塩分をきれいに落とすあと、水気をふきとります。このあと、風通しのよい場所で、日陰干しをして、水気を完全にとってください。ロッドはシリコンクロスなどでからぶき。ガイドやリールシートは防錆スプレーを。こうしておけば、塗装部の水ぶくれ(プリスタ)や、金属部のサビなどをシャットアウトできます。

タワシ・みがき粉・ベンジン及びシンナー等のご使用は絶対に避けてください。



ロッドの汚れは、真水又はぬるま湯で洗った後、乾いた布でよく拭きとってください。



注)市販のロッドクリーナーやワックス・洗剤等をご使用になる場合はくれぐれも注意してください。ロッドによっては塗装及び時にはロッドまで傷める原因になります。

車のトランクルームなどに長期間放置しないでください。

高温、密閉状態での長期間放置は、ロッドの大敵。釣行後は、上記の要領で手入れのあと、風通しの良い場所にしまってください。



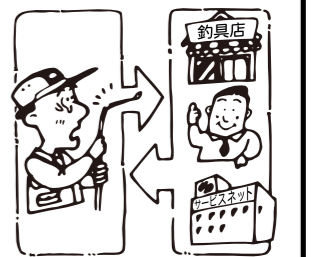
●ロッドの曲がりについて

現在のロッド生産技術上、グラスロッド、カーボンロッドの違いを問わず各部分の曲がり率を100%排除することは不可能な状態です。特にカーボンロッドに於いては繊維自体の持つ強い剛性のため、ロッド全体に垂れ下がりが無いので従来のグラスロッドに比べ曲がり率がどうしても立ちます。強度機能上は問題ありませんので、ご安心ください。

●改造後の責任は負いかねます。改造後の故障については、保証期間中であっても負いかねる場合があります。ご注意ください。

●万一の故障は全国のサービスネットへ

お買い上げの販売店又は、お近くのシマノサービスネットへご連絡ください。その際、保証書付きの商品は保証書を添えてください。保証期間中の故障は、保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。保証期間経過後の修理、又は保証書無しの商品は、有料修理とさせていただきます。



※この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造中止後6年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない場合がございます。

SHIMANO FISHING ROD

フィッシングロッドを末永くお使いいただくために

フィッシングロッド 取扱説明書

このたびは、シマノフィッシングロッドをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。いかに軽くて丈夫なロッドでも、乱暴な取り扱いでは、竿を傷めてしまいます。釣り人にとって、竿は大切な体の一部。この説明書をお読みの上未永く、ご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

SHIMANO

安全上のご注意 ご使用前に必ずお読みください。

⚠ 危険	<p>高圧線への接近による放電や感電、さらに落雷による感電は、最悪の場合重大事故(感電死)を招く恐れがあります。尚、水に濡れたグラスロッドも同様の危険がありますのでご注意ください。</p> <p>気象条件により、空気中に電気を帯びている場合があります。ビビリと電気を感じるのとは為です。天候の変化等により危険を伴いますので、そうした場所での釣りはお避けください。落雷・感電による感電死を招く恐れがあります。</p> <p>電線との接触による感電 高圧線・線路・鉄橋等の電線による感電に注意してください。釣竿は素材特性上、電気をよく伝えます。特に電線等に接触、または、釣竿を近づけただけでも感電して死亡事故の原因となります。釣竿を移動する時は竿をたたみ、高圧線・線路・鉄橋等の電線の下または近くでは絶対に使用しないでください。</p> <p>落雷による感電 落雷による感電に注意してください。使用中、雷が発生した時は、ただちに釣竿から離れ、安全な場所に避難してください。また、雷の発生がなくても、釣竿から電気を感ずるようなときも同様、ただちに釣竿から離れ、安全な場所に避難してください。</p> <p>釣り場以外の電線による感電 釣り以外で釣竿を使用し、電線に触れる事故が発生しています。釣竿を使用する時は、周囲の安全に十分注意してください。</p>
⚠ 警告	<p>キャスト(投げ)時の注意 キャスティング(投げ)の時は、周囲に人がいないか、十分に安全を確認してください。釣針が人にささったり、ルアーフック、オモリ等が人に当たると非常に危険です。</p>
⚠ 注意	<p>固着のゆるめ方 釣竿の固着(継ぎ部が食い込んで外れない時)は、継ぎ目の両側近くに、すべり止めを当てて握り、互いに逆方向へヒネリながら押し(振出竿の場合)、継ぎ目をゆるめてください。その際、一気に力を加えると釣竿の継ぎ目に手をはさみ、けがをするおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●竿の構造上、固着を完全に防止することはできません。固着をゆるめる時等、強く竿を握ると竿が潰れて破損し、手等に怪我をする場合がありますのでご注意ください。 ●固着をゆるめる時等、ガイド部分を握って節の抜き差しはしないでください。ガイドの変形や糸止部の破損の原因になり、手等に怪我をする場合がありますのでおやめください。 <p>根掛かりの外し方 根掛かり(水中、陸上での障害物に仕掛けが絡みはすれない状態)した時は、無理に竿をあおらないでください。竿が折れたり、外れた仕掛けが飛んできて、けがをするおそれがあります。根掛かりは、出来るだけ、糸を手にとって引っ張って糸を切ってください。その際、糸で手を切ることがありますので、手袋やタオルで手を保護してください。</p> <p>破損時の取り扱い方 使用中、万が一釣竿が破損(折れ、割れ、欠け、剥離)した場合、破損した箇所を手などがけをするおそれがあります。</p> <p>子供の手の届く所に置かないでください 誤使用による事故や怪我に繋がる恐れがあります。</p> <p>釣竿を釣り以外の目的に使用しないでください 事故や怪我につながる恐れがあります。</p> <p>竿の一部や穂先等を無理に曲げると折れることがあります 折れた竿の一部が反動で顔や体に当たり、怪我をする恐れがありますのでご注意ください。</p> <p>安全に釣りを頂くために 万一、竿が破損してしまった場合、破損した竿の一部が反動で顔や体に当たり、怪我をする恐れがあります。釣りをする際は、安全のためサングラス(偏光グラス)、帽子の着用をお勧めします。</p>

※本製品の本体には法律に基づき、竿による感電に注意して頂くよう注意喚起シンボルシールが貼ってあります。簡単にはがれないように、シールの上にコーティングしてありますので、はがさないようお願いいたします。尚、印刷されている機種もあります。

フィッシングロッド取扱い上の注意

使用上のご注意

- ガイド付き振り出し竿の場合・・・**
 - トップカバーをはずす時は、真上に引き抜くようにしてください。無理にひねったり、こじったりすると穂先を折ることがあります。
 - 移動ガイドは、確実にセットしてください。また、ガイドに道糸を通し忘れないよう注意してください。それらが原因で穂先を折ることがあります。
 - 糸ガラムシは、確実に道糸を巻き込まないでください。竿の一部に無理な力がかかり折れることがあります。
- ガイドなし竿の場合・・・**
 - 上栓をはずす時は、真上に引き抜くようにしてください。無理にひねったり、こじったりすると玉口部分を傷つけることがあります。
 - 糸ガラムシは、確実に道糸を巻き込まないでください。竿の一部に無理な力がかかり折れることがあります。
- ガイド付き並継ぎ・印籠継ぎ竿の場合・・・**
 - 竿を継いで伸ばす際、前後のガイドのセンター合わせをすると同時に継ぎ部の合わせをしっかりと行ってください。合わせが緩いと、キャスト時に合わせが抜ける恐れがあります。
 - フルキャストを繰り返す場合、定期的なロッド継ぎ部の合わせ具合をご確認ください。合わせが緩いと、キャスト時に合わせが抜ける恐れがあります。
 - 竿を継いで伸ばしたり、あるいは仕舞う際に、ガイド部を持って捻じったりしないでください。ガイドの破損、ガイドの変形、厚塗り部の割れや剥離、糸巻きが破損する恐れがあります。
- ロッドホルダー、ロッドクランプを取り付ける場合・・・**
 - かかり竿・船竿については、金属製ロッドホルダー及び金属製ロッドクランプの使用時において強い締付を行ないますと、締付部(素材等)の破損が生じる恐れがあります。この様な破損による損害については当社としては補償しかねますのであらかじめ御了承ください。
- スピゴットフェール(印籠継ぎ)の場合・・・**
 - スピゴットフェール(印籠継ぎ)部は隙間があくように設計されています。これは季節や環境の変化による合わせ部の膨張、収縮と磨耗に対応するためのものです。充分強度を持たせており使用上の問題はありませので安心してお使いください。無理矢理差し込んだりすると口割れをおこしたり、ぬげなくなる恐れがありますので、必要以上に差し込まないでください。
- ソリッド穂先に関するご注意・・・**
 - 穂先に用いられるソリッド材料は、カーボン或いはグラス繊維が一方向のため、トップガイドなどを持って捻ると破損の恐れがあります。ガイドを持って捻らないでください。
- リールシートに関するご注意・・・**
 - リールを取り付けていない状態で、ナットスクリーを締め込みすぎると破損する恐れがあります。フードの位置がリール脚の長さよりも短くなるまで締めないでください。

- ロッドの曲がりについて**

現在のロッド生産技術上、グラスロッド、カーボンロッドの違いを問わず各部分の曲がりを100%排除することは不可能な状態です。特にカーボンロッドに於いては繊維自体の持つ強い剛性のため、ロッド全体に垂れ下がりがないので従来のグラスロッドに比べ曲がりかどうしても目立ちます。強度機能上は問題ありませんので、ご安心ください。
- 改造後の責任は負いかねます**

改造後の故障については、保証期間中であっても負いかねる場合があります。ご注意ください。
- 万一の故障は全国のサービスネットへ**

お買い上げの販売店又は、お近くのシマノサービスネットへご連絡ください。その際、保証書付きの商品は保証書を添えてください。保証期間中の故障は、保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。保証期間経過後の修理、又は保証書無しの商品は、有料修理とさせていただきます。

※この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造中止後6年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない可能性があります。



継ぎ目がとれにくくなった場合

- ガイドなし振り出し竿の場合・・・**
 - 固着したところより細い(穂先方向)部分を、まず抜き取ります。元竿の中に仕舞い込んだロッドはそのままにして、板面等それほど硬くない水平な面に垂直に立てて持ちます。元竿や仕舞い込んだロッドを誘導管にして、ストン、ストンと落とせば意外に簡単に外れます。このとき、タオルや段ボールなどを敷いておけば、より安心です。
- ガイド付き振り出し竿の場合・・・**
 - 並継ぎ竿と同じ要領です。お互いに逆方向にネジリながら、ゆっくりと押し込みあいます。
- この時、竿に手をはさむ場合がありますので、手袋をつける等してご注意ください。**
- ※ガイドを外して、ガイドなしの要領で行う方法もありますが、ガイドを外すときの熱の加え方が難しく、おすすめできません。**

その他のご注意

- 竿が曲がる際に、糸巻き部の厚塗りが竿の曲がり追随できず、ひびが入ることがありますが、ガイドやリールシートの固定力には問題ありません。現在の生産技術上、ひび割れを防ぐことはできない状態です。あらかじめご了承ください。
- 竿は一本一本、手作業で仕上げられています。そのため、商品により色調や質感に若干の差が生じる場合がありますがご了承ください。

釣行後のお手入れもお忘れなく

- 水洗いをして、汚れや塩分をきれいに落とし、水気をふきとります。このあと、風通しの良い場所で、日陰干しをして、水気を完全にふきとってください。ロッド部はシリコンクロスなどで空ぶき。ガイドやリールシートは防錆スプレーを。こうしておけば、塗装部の水ぶくれ(プリスタ)や、金属部のサビなどをシャットアウトできます。
- 車のトランクルームなどに長期間放置しないでください。**

高温、密閉状態での長期間放置は、ロッドの大敵。釣行後は、上記の要領で手入れのあと、風通しの良い場所にしまってください。
- タワシ・みがき粉・ベンジン及びシンナー等のご使用は絶対に避けてください。**

ロッドの汚れは、真水又はぬるま湯で洗った後、乾いた布でよく拭きとってください。注)市販のロッドクリーナーやワックス・洗剤等をご使用になる場合はくれぐれも注意してください。ロッドによっては塗装及び時にはロッドまで傷める原因になります。

竿の表面を布等で強くこすると、塗装の種類によっては色落ちが発生する場合がございます。ただし、塗膜そのものが剥離したり、ロッドの機能に影響を及ぼす恐れはございませんので、あらかじめご了承くださいませ。また、衣服等に色が付く場合がありますのでご注意ください。

修理部品に関するお願い

- パーツを注文される際は、必ず商品名と商品コード番号をお知らせください。
- 弊社は修理部品を商品コード番号によって分類しています。穂先交換など自分で修理される場合には、商品コード番号をお知らせください。商品コード番号は、保証書(保証書の付かない商品もあります)、本体元竿、パッケージのラベル、タグ等に記載されています。商品コード番号を控えて、修理の際には必ず御提示ください。
- 修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。修理対応期間につきましてはシマノ全国サービスネットにお問い合わせください。

※商品コード番号は、数字の5ケタになっています。(例) CODE No.12345

